



# かえでゆうびん 3月号



2025年3月1日  
社会福祉法人 清松学園  
幼保連携型認定こども園  
かえで保育園  
園長 引地 美津代

2024年度も残すところ1か月となりました。

今年度は「子どもにとって」を中心に行事の日程を変更したり、プログラムを子どもたちと考案して進めたり、様々な点で保育園生活の見直しをして進めてきました。

その中で土曜日の行事を平日に移行しましたが、保護者の皆様のご理解とご協力をいただき大きな支障なく楽しい時間を持つことができました。平日にイベントを移行したことで年間に何度かの土曜の出勤と残業の軽減が可能となり、職員が身体を休め、リフレッシュできる日が取れたことは一日緊張の中で保育をしている職員にとってしっかり働きしっかり務めるといった切り替えができました。ありがとうございました。これからも心も体も元気な職員で子どもたちや保護者の方々にとっての保育園生活を円滑に進め、何より心地よく過ごせる場所として継続できるよう、皆様のご意見も反映しながら進めていきたいと思えます。

2月には幼児クラスのクラス懇談会を行いました。短い時間でクラスの一年を伝えることは難しく、子どもの様子の映像を見ていただきながら各担任が伝えました。目で見えるお子様の様子では普段に伝えていることやお子さまから聞かれる話が「あ・・・こういう事だったんですね」とつながったような場面もありました。日ごろ様々なエピソードが絶えない保育現場ですのでもっと伝えたい・・・と思いを30分の中にぎゅっと凝集して紹介させていただいたお子様の様子はまた、楽しんで頂けるような機会を作りたいと思えます。そのあとの時間でどのクラスもテーマ「お母さんのストレス解消は?」「小さな時のご自分はどんなお子様でしたか?」「小学校に上がることでの意見交換」など学年によって違ったテーマで1分間トークをしていただきましたが、学年が大きくなるほど顔見知りが多く、ざっくばらんに話が進み、学校に行くことへの不安をだせたり、こうするとよかったなどのやり方を聞くことができ少しですが保護者の方の不安も解消できたのでは?と思えます。保護者の方々もお子様を通じて保護者同士もかえでで知り合えたこと。そしてお子様がこれからも良い関係で小・中・高・大そして社会人として独り立ちしていく人生の中に少しでもかえでで過ごした思い出を大切にそれぞれが自分らしく開花していつくれることを楽しみに、寂しいですが15名のだいちを送り出します。

かえでの仲間たちへ

「おおきくおおきくおおきくなあれ!!」

## おねがい

- ・進級の方々には新年度用の書類を配布しています。締め切り3日
  - ・進級に当たってロッカーの点検をします。6日(木)～7日(金)に一度全ての物を持ち帰り頂き、サイズ・名前の確認をし、10日(月)に持ってきてください。
- 移行保育で職員や部屋の移動をします。めばえ組・ふたば組・つぼみ組だいち組は過ごす部屋が変わります。よいこネット等でお知らせしますのでご確認ください。

## おしらせ

### 3月の予定

- 8日(土) 卒園式 \*職員全員で卒園児を送り出します。  
家庭保育のご協力をお願いします
- 14日(金) 全園児お弁当日・だいちぐみ遠足  
つぼみ～ひかりお別れ遠足(詳細は後日お知らせします)
- 19日(水) 誕生会
- 21日(金) 月例健診
- 24日(月) ありがとうの会
- 28日(金) お別れお散歩(つぼみ～だいち)
- 29日(土) 新年度準備、職員会議  
\*家庭保育のご協力をお願いします
- 31日(月) 年度末・新年度準備のためできるだけ家庭保育のご協力をお願いします。日割りの延長保育はお受けできません。

絵画12、25日(水・火)

体操13・27日(木)

### 4月の予定

1日(火) 入園・進級式

☆2025年度の年間行事予定表は1日配布予定です

## 先生のメッセージ

2月は寒い日が続きましたが、園内では流行する病気もほとんどなく、全体的に元気に過ごせたことを嬉しく思います。

早、3月だいちぐみは卒園の時期を迎えます。一人ひとりのお子さまの成長と一緒に育てさせていただけたことに感謝します。

保護者の方も親として、子どもと成長しながらの毎日、たくさんの喜びだけではなく、大変なことも多くあったことと思います。

私たちは卒園の準備をしていく中で、子どもたちの成長を職員と振り返りながら、喜ばしいことと思いつつも、小学校へ送り出すことの寂しさでいっぱいです。

ご縁があって出会えた保育園での生活もあと少し、まだまだ続く方とも一緒に、卒園していく子どもたちの成長をこれからも見守っていきたいと思えます。

主幹保育教諭 F

今年の冬は寒波に大雪と、日本各地からニュースが流れてきましたね。夏が大の苦手な寒がりの私は、毎日防寒具でぐるぐる巻きになりながら通勤していますが、夏がくることを想像しながら、どう乗り切ろうかと今から冷や冷やしています。

さて、今年もまた新たな年度を迎えようとしています。大好きな友だちや安心できる保育者、落ち着く場所など、子どもたち一人ひとりがこの1年をかけて沢山の“だいすき”と出会ったのではと思います。その中でつけたあそびや不思議が広がり、それぞれの重ねてきた経験が、子どもたちの心の種となっていることを嬉しく思います。

新年度を迎えるにあたって、安心して次の環境へ移行できるようにという思いから、“移行期”というものを設けています。まずは部屋を移り、新しい場所でも食事や睡眠が安心して摂れるように過ごしていきます。そして翌週は新クラスの担任と共に過ごしながら、子どもたちが新クラスへと期待を持てるように職員全体で見守っています。

2月に入った頃から抱きしめたり抱っこをしたり、普段よりも沢山甘えてくれるだいちさんの心の中もきっと寂しさとわくわくでいっぱいのはず。

新しい世界や初めての環境に向かう時はドキドキや不安もあるかと思いますが、これまで安心できる場所で重ねてきた経験を自信に変えて、

新たな場所でも“だいすき”を沢山見つけて欲しいと思います。

保護者の方と一緒に成長を見届けられたこと、そして多くの時間を共に過ごしてきただいちさんに、『ありがとう』を届けたいです。

主幹保育教諭 K

## メッセージ

私は食べるのが大好きです。ですが、一人暮らしを始め、疲れて帰ってきて料理を作ることも難しく、家ではふりかけごはんやお茶漬けなどすぐにできる簡単なものばかり食べています。実家にいる時は祖母がごはんを作ってくれていました。仕事が終わってから疲れているはずなのに、何品も栄養バランスまで考えておいしいごはんを作ってくれていました。しかも、当時私と犬のごはんも含めて8人家族分、お腹いっぱいになるくらい毎日食べさせてもらっていました。そして、いざ一人暮らしを始め、自分で生活してみると、健康的に生活することの大変さを実感し、より感謝の気持ちでいっぱいになりました。

小さい頃から食べている想いのこもったごはんで培った栄養は健康的な身体だけでなく、今の私の心の支えにもなっていると感じます。実家に帰った際にそんな愛情いっぱいのおいしいごはんを食べることが何よりも大好きで、頑張る活力になっています。

保育教諭 Y

私は童謡が大好きです。童謡を歌うと子どもの心に戻れたようで、楽しくなります。又、幼かった頃の記憶とともに両親の色々な姿が思い出されて懐かしく温かな気持ちになります。童謡の「雪」の最初の部分は「雪やこんこん」ではなく「雪やこんこ」だと大人になって知りました。「こんこ」は「もっと降り」という意味があるそうです。他にも「どんぐりころころ」も「どんぐりこ」ではなく「どんぶりこ」です。意味は「音を立てて水に落ちる」という意味です。

私のお気に入りの曲は、「あめふり」です。雨が降った時の嬉しさや、“かあさんぼくのをかしましょか”という傘をかしてあげる優しい思いやりなど、子どもたちにも感じてほしい素直な気持ちだと感じながらいつも歌っています。これからも保育の中でたくさん童謡を歌い伝えていき、子どもたちにも様々な歌の世界を楽しんでほしいと思います。

保育教諭 K

## 保護者からのエピソード

最近、娘は歌や踊り、そしてピンクやフリル、キラキラした可愛いものが大好きです。髪を少し凝った結び方にしてあげたときや、お気に入りの服を着たときは、嬉しそうにパパのところへ駆け寄り、「かわいいね」と言われるのをじっと待っています。自分から「かわいい？」とは聞かず、パパが言うまで待っています。ちなみに、「いいやん」では納得できなかったようです。(笑) 小さくても、やっぱり女の子なんだなぁと感じる瞬間です。

つぼみ組 あいこさん

保育園で作った物を真似て、家にあるものを使って自分で考えて工夫しているところや挨拶、お片付けやお家のお手伝いなど、生活の基本を自然に、また自発的に身につけているところに成長を感じ、改めて「大きくなったなぁ」と日々思っています。これからものびのび遊んでカいっぱい楽しく過ごして欲しいと思います。

いぶき組 たかおさん

保育園生活も残りわずか。甘えん坊で寂しがり屋の娘に心配した時期もありましたが、今では毎日寝る前に「今日の1番楽しかったこと」を嬉しそうに発表してくれ、小学校へのワクワクでいっぱいの様子。いつも温かく迎えてくれた先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

だいち組 かざきさん

最近お迎えに行くと、給食室を覗く、お魚を見る、玄関前の椅子に座る、「あし」と靴下を求め、身体を触って上着を求め、頭を触り、ヘルメットを求め…帰り支度ができたら「あっこ」(抱っこ)と一言。帰宅までの一連の流れができました。登園してもうすぐ1年、園生活にも慣れ、我が子の成長を日々感じています。

めばえ組 かなこさん

入園して初めてのかえでフェスティバル。シャイなので、沢山の大人に観られると緊張で固まるのかなと予想していました。ですが本番では、お友達と笑いあって終始にこにこで舞台を終えたので意外でした。保育園で、お友達や先生たちと一緒にいろんな経験を積んで成長しているんだなと嬉しく思いました。

いぶき組 あやこさん

かえでも家でもたくさんお絵かきをしています。最近は大きな紙に書いて登場人物も増え、場面の説明もしてくれるので楽しみです。あっという間にかえでの生活もあと一年。大好きなお友だちや先生と楽しく過ごしてほしいです。

ひかり組 あきこさん

## 2月の子どもたちのようす



ウエディングツリーをリメイクして、「めばえの木」を作りました。空と地面はドットマーカー、木は指スタンプで描きました。一人ひとり指スタンプの色が違い、力強さが子どもによって異なります。8人でつくった個性あふれる素敵な「めばえの木」ができました。



めばえ組の部屋に赤ちゃんの人形と布団を出し、お世話コーナーを作りました。布団に寝かせてトントンしてあげたり、赤ちゃんとおまむねの服を保育者のもとに持ってきて一緒に着せてあげたりなど、保育者と一緒に世話遊びを楽しんでいます。ご飯を食べさせて「おいしい」と言葉にすることもあり、その姿を見て微笑ましく思います。



ぐっと冷え込んだ日、園庭の色々な所に氷が張っていました。「つめたーい！」と触ってみたり、ボウルに入れて割ってみたり、、、冬ならではの氷の感触を楽しみました。また氷に落ち葉を刺してウサギを作ったり、細かく砕いてご飯にしたりと、様々なものに見立てて遊びました。



電車あそびが盛り上がっています。鉄橋や橋、踏切など線路の種類を増やしたことで、以前よりも線路を長く繋げて部屋を広く使って遊んでいます。また線路の近くに積み木を並べたり、電車を線路の上でなく床に並べてみたりと、ただ繋げるだけでなく色々な種類を組み合わせ工夫しながら遊べるようになりました。



先月は節分があり、つぼみ組の子どもたちも節分を楽しみました。鬼のお面を付けて鬼になりきることを楽しむ姿も見られました。また、だいち組のお兄さん、お姉さんが鬼役になってつぼみさんが豆に見立てた丸めた新聞紙を投げて、「おにはそと！ふくはうち！」と豆まきを楽しみました。



先月はおもちつきがありました。おもちを食べませんでしたが、つきたてのおもちのやわらかい感触を手で触って楽しみました。また、おもちつきの後、おもちつきが体験できる手作りの玩具で「1、2、3...」と数えながら友だちと交代しながらおもちつきごっこを楽しんでいます。





～ボール遊び～

円になり友だちの名前を呼び、受け取るボール遊びをしています。ボールを投げて受け取った時には、なんだか嬉しそうな子どもたち。「入れて」と遊びに参加する子どもが増え、いつの間にか大きな円になっていました。色々な友だちとの関わりが深まっています。



～アイドルごっこ～

園庭に出ると「マスカットがいい!」「ツバメ踊りたい」とダンスの曲をリクエスト。踊っているといつの間にかお客さんも来てくれました。年下の子どもたちが手拍子をしたり一緒に踊ったりと、見てもらえる心地よさを感じている様子です。



～時計屋さん～

かえでフェスティバルでは、歌「おおきなふるどけい」にちなんで、折り紙で時計をみんなで作りました。その折り紙での腕時計を使い、時計屋さんが開店しました。お店の看板に、折り紙で作った雪の結晶を貼ったり、時計を入れる紙袋を作るなど、子どもたちはお店の開店準備に大忙しです。

「みんなでつくったとけいが、とけいやさんになれてうれしいね」と誇らしげな表情で話しながら、お店作りをしています。



ヒヤシンス、ブロッコリーに加え、ひかり組に新たな仲間ができました。小さな茶色い種を顕微鏡で見ると、ツルツルした表面や、小さな種が大きく映し出される姿に興味深く観察していました。2年前のだいち組が育てていたパイナップルの種であることを知ると、大喜びの様子で、「いつ食べようかな」と話しています。まだまだ小さな種。芽が出て、大きくなるころには、ひかり組の子どもたちも大きく、素敵に成長していることと思います。



最近、だいち組ではオセロゲームが大人気です。朝の集いが終わるなり、「〇〇くん一緒にオセロしよう!」「次代わってね」など順番待ちが絶えません。ひかり・いぶき組の子どもたちもだいち組が勝負している様子をじっと見つめています。「△△ちゃん、強いねん」「めっちゃいい勝負やった」などとルールをしっかりと守りながらゲームを楽しむと共に相手の強さを認める姿が多く見られます。



## お台所から



1月にみんなで購入した連絡ノートを書き始めました。日付、明日の持ち物、お家の人に連絡してほしいことを中心に連絡ノートを書いていきます。約束事は「背もたれ椅子に座り、足とお尻に根っこを生やして、背中中は伸ばす」「困ったことがあったら手を挙げて教えてね」の2つ。文字で書くのが難しければ絵で表現してもよいので、自分ができるように表現するよう、自ら考えて書いています。「今日は何を書くの?」「明日は体操だから、体操服って書くよね?」とこの連絡ノートの時間を楽しみにするとともに、見通しを持って行動したり、明日の持ち物や出来事を意識するきっかけとなるように関わっています。



### ～2月の食育活動～

2月4日のお昼ごはんは節分の海苔巻き、世界の料理第3弾の「韓国」をイメージした「キンパ」でした。お皿にきれいに盛り付けてあるキンパをみて「いいにおい!」「おいしそう～」ととっても喜んでくれておかわりもたくさんしてくれてうれしかったです。そして玄関にキンパの写真とPOPを飾ると「家でものり巻きたべたね」「キンパはどうだった?」と話しながら嬉しそうにキンパを食べた感想を伝えていました。韓国語でいただきます「チャルモッケスムニダ」と書いたPOPをランチルームに掲示しています。少し難しいですが何度も聞いてはつぶやいてを繰り返して、お昼ご飯の前やおうちで韓国語を話している子もいるようです。



### 【はまかせ】

おもちつきでは、園庭に響く「よいしょ!」の掛け声に合わせて、だいち組や参加して下さった保護者の方と一緒にもちをついて盛り上がりました。つきたてのおもちと自分の頬を交互に触り「どっちがもちもちかな」ともちの感触と温かさを感じていました。あんこ、きなこ、のり醤油の中から好きな味を選んで美味しくいただきました。室内遊びでももちつきごっことしてもちをつくタイミングに合わせて、みんなで「よいしょ!」と大きな掛け声で盛り上がっています。お手伝いに来てくださった保護者の皆さまありがとうございました。



1月からだいちさんのリクエストメニューを献立に取り入れています。「かえで保育園のご飯で何が好き?」と聞くとすぐに教えてくれる子もいれば「どれも美味しいからなあ、」と沢山のメニューを思い浮かべながら悩んでいる子もいました。自分のリクエストメニューが出てくるまで「私のリクエストはいつ?」「あと何回寝たらでてくる?」と待ちきれない様子でその日を楽しみにしてくれています。だいちさんがリクエストした献立の日は玄関のPOPに載せているので、ぜひお子さまと一緒にご覧ください。



### 【はまかせ】

朝のはまタイムかぜタイムの後に、ふれあいあそびをする機会が増えました。リズムに合わせて手を繋いだり、今日の朝ご飯を伝え合ったりと人と人との温かさを感じられるよう進めています。目と目を合わせて話す姿は、少し照れながらも同じことを考えていたことに嬉しさを感じたり、友だちの気持ちに気付くきっかけにもなっています。背中を合わせて手を使わずに立てるか挑戦したり、お互いの足の裏を合わせて三角を作ったりと協力することも楽しんでいます。



### ～3月の献立・予定している食育活動～

「ひなまつり」の日にはいなり寿司が登場し、お楽しみメニューやリクエストメニューなど子どもたちが楽しみにしている献立もたくさんできます。また、春キャベツやカリフラワー、アスパラガスなどの食材も献立に取り入れていきますので楽しみに。

# 3月のあそびへの思い

## めばえ

3月になり、いよいよめばえ組で過ごす最後の月となりました。入園した頃は担任の側を離れなかった子ども達が、今では一人で思い思いの場所へ遊びに行けるようになりました。行く先々で新しい発見をしたり、遊びが深まったり、友だちとの関わりを楽しんだりしている姿に1年の成長を感じました。この1年、子ども達の成長を保護者の方と一緒に感じる事が出来とても嬉しく思います。生活の中でも、遊びの中でも自分で出来る事がたくさん増えました。できる事が増えていくと同時に「自分でやりたい」という気持ちも少しずつ出てきています。ふたば組へ向けて“やってみたい”の気持ちを大切にしながら傍で見守り、一緒に出来た喜びや難しさに共感していきたいと思います。

## ふたば

寒い日が続いていしたが、ようやく春が訪れようとしています。ふたば組で過ごす時間も、気付けば残り1か月となりました。ある日、そばで話していた2人の会話に耳を傾けてみると、「〇〇ちゃん泣いてるね、いたかったのかな?」「よしよしする?」と、遠くで泣いている友だちを見つけた場面でした。2人は話し終わった後急いで走っていき、頭を撫でたり玩具を渡したりと色々な方法でなくさめてみましたが、なかなか泣き止みません。二人はうーん、と悩みどこかへ走っていったかと思えば、泣いている子が好きなどんぐりを探していたのでした。もらったどんぐりを見ると泣き顔はばあっと明るくなり、自然と一緒に遊び始めました。毎日保育園で過ごしていると、よく見る何気ない日常の1コマですが、この1年間で沢山の友だちとの関わりを経験し、一緒に過ごす嬉しさや楽しさを感じて大きく成長していることを保育者も感じた1場面でした。

「ゆったりと」がテーマだったふたば組ですが、来年度は「みまもる」がキーワードとなります。友だちと共に過ごし、遊び、たまに気持ちが伝わらないこともあります。そっと成長を見守り支えていきたいと思ひます。

## つぼみ

つぼみ組として過ごす時間も残り1ヶ月となりました。この1年でできることがたくさん増えたつぼみ組の子どもたちです。身の回りのことも少しずつ自分でできるようになっていて、難しいところは援助しつつも保育者は子どもたちを見守る場面が多くなってきました。また、子ども同士でルールのある遊びを楽しんだり、ごっこ遊びで会話や関わりを楽しんだりしながら、友だち同士の関わりも深くなり楽しんでいます。つぼみ組として過ごす残りの時間も、子どもたちの自分でやりたい気持ちや、友だち同士の関わりを見守りながら幼児クラスに向けて関わっていきます。

## いぶき

いぶき組になり1年が経とうとしています。4月から振り返ってみると、初めての幼児クラスになり新しい先生や友だち、新しい環境で過ごしていく中たくさんの「経験」をすることができました。いつの間にかアートコーナーを広々と使い色々な素材を使って作品作りに熱中していたり、ペアのだいち組さんに見守られながらやってみたいことに挑戦してみたり、数えきれない多くの思い出があり、成長を感じます。これらの経験は、保育者や年上のペアの友だちに見守られる安心感や、大好きな友だちがいたからこそだと思ひます。これからも「やってみたい」「挑戦したい」ことに恐れず、色々な経験をしてほしいです。子どもたちの「やってみたい」ことを思い切り楽しむ1ヶ月に、そして一緒に過ごしてきただいちさんへの“ありがとう”を感じながら過ごしていきたいと思ひます。

## ひかり

「ひかりさん」と呼ばれることも、気付けば残り1か月となりました。「もうすぐぼくたち、だいちさんなんだよ」「だいちさんになったら、だいぼうけんするんだ」と憧れのだいち組になれることに、期待を膨らませています。ひかり組での1年間で友だちとの関わりも深まり、一緒に居て心地いい、安心する存在を見つけ、集団として取り組むようになりました。時には友だちに想いが伝わらず、涙を流したり、葛藤することもあります。笑い合ったり、共に助けあひながら過ごす中で、かけがえのない存在になっています。ひかり組の保育テーマである「考える」。子どもたちの“やってみたい”を共に実現しながら挑戦するなかで、考え、気付き、沢山の発見が見つかりました。ひかり組として過ごす残りの時間を大切にしながら、安心してだいち組に進級できるよう、見守りたいです。

## だいち

園生活が残り1ヶ月となり、「卒園」というワードが子ども達からも出てくるようになってきました。最近のだいち会議では“感謝”をテーマに、お家の人・友だち・先生など今まで関わってきた人たちにどんなありがとうを伝えたいか、を話し合っています。言葉にして伝えるもよし、気持ちを込めてプレゼントを送るもよし。自分を取り巻く人々に感謝をする大切さを子どもたちにも知ってもらえたらと思ひます。そして、楽しいこと、悲しいこと、悔しいこと、嬉しいことも、たくさんの思い出に出会ったかえで保育園での経験が、子ども達の自信となり小学校での生活やこれからの人生に繋がっていつてくれることを願っています。「小学校へ行っても、楽しいことで溢れた毎日が過ごせますように」と思ひながら、残りの時間を大切に過ごしていきたいです。

## はまかせ

昨年の春頃を思い返すと、新しい部屋に変わり少し緊張していたいぶき組、少しお兄さんお姉さんになったひかり組、憧れていただいち組とそれぞれ環境や心境が変わりながら過ごしていたことを思い出します。どのクラスも次のクラスや学校に向けて期待をもちながら過ごしています。最近では、だいち組が園外保育に出かけている時に「やるやる!」と待ってましたというようにランチルームの準備や片付けの手伝いをしています。普段からだいちさんがどのように片付けているかよく見ている分、自然と子どもたち同士で方法や順番が伝わっています。遊びの中でも興味があることにワクワクしたり、挑戦しようと葛藤する場面では、どこかで見守ってくれているペアの友だちの姿が見られました。残りの1ヶ月、ペアの友だちと過ごした時間を振り返ったり、安心して過ごせる友だちとの時間を大切に過ごしていきたいです。